

# 本日の上映作品から・・・

## ヘアdresser The Hairdresser

「ヘアdresser」社会的弱者の逆襲  
あきらめない気持ち せがわゆじ 瀬川裕司 明治大学教授 映画学

ドリス・デリエは、わが国で10本以上の監督作が紹介されている数少ないドイツ人映画作家の一人である。喜劇的色彩が強い作品を撮ることが多いが、96年に夫が死亡してからは、<生と死>が創作の大きなテーマとなっているようだ。デリエが東洋、とりわけ日本の文化に傾倒しており、このところ日本で撮った作品、あるいは日本に関係の深い作品が続いたことはよく知られている。『ヘアdresser』は、デリエがはじめて脚本執筆を他者にまかせた作品であるが、社会的弱者の葛藤、「あきらめない気持ち」を描くのは、その監督がもっとも得意とするところである。...

◇スタッフ  
監督:ドリス・デリエ  
製作:ウルリッヒ・リマー

脚本:ライラ・スティラー  
撮影:ハノー・レンツ  
編集:イネズ・レニエ、フランク・ミュラー  
◇キャスト  
カティ/ガブリエラ・マリア・シュマイデ  
◇ドリス・デリエ監督



1955年、ハノーヴァー生まれ。ミュンヘンテレビ映画大学を卒業後、83年『心の中で』で長編監督デビュー。85年『メン』で大きな注目を浴び、以後『パラダイス』(86)、『愛され作戦』(94)、『アム・アイ・ビューティフル?』(98)を発表。禅をテーマにした『MON-ZEN「もんぜん」』(99)、『漁師と妻』(05)、『HANAMI』(08)を日本で撮影している。作家、オペラ演出家としても活躍。

## 観客賞エントリー作品13本(日本初公開作品・愛知初公開作品)

## HANAMI Cherry Blossoms-Hanami

### 日本で合体する夫婦の魂

ながさかとしひさ 長坂寿久 拓殖大学教授 NGO・NPO論

「ダンスを観ながらあるアメリカ人の芸術家と交わした会話を思い出す。日本の芸術家はうらやましい。西洋的文化に東洋的なものを注入すれば新しい芸術創造に貢献できる。私たち西洋側は東洋文化を知らないで好奇心や物珍しさに圧倒され、その本質に近づくのは難しく東西文化の融合は結局奇を衒うものになってしまう。」ダンスはまさに、西欧のモダンダンスと日本の精神性との合体による新しい芸術創造の一つだと彼は言っていた。この映画には「ダンス」のシーンがしばしば挿入されるが違和感はなくむしろ見事で、監督の日本文化への憧憬と理解はただものではないことを実感する。...

◇スタッフ  
監督:ドリス・デリエ

製作:モリー・フォン・フルステンベルグ、ハラルド・クーグラ



撮影:ハンノ・レンツ  
音楽:クラウド・バンツァー  
編集:イネズ・レニエ、フランク・ミュラー  
◇キャスト  
ルディ/エルマー・ウェッパート  
トゥルーディ/ハンネローレ・エルスナー  
ユウ/入月絢  
◇ドリス・デリエ監督  
前項参照

## 日本映画名作

## 大奥

2010年/116分/監督:金子文紀

男子だけを襲う疫病が蔓延した江戸。男性の減った世界は要職の殆どを女性が占め、男女の立場は完全に逆転した。美男三千人が集うといわれる大奥に仕えることになった水野は、改革を進めようとする女将軍・吉宗の目に留まる。よしながふみのSF歴史漫画を華麗に映像化。



## 放浪記

1962年/123分/監督:成瀬巳喜男

貧しい家に育ったふみ子は、カフェの女給や料理屋の女中などを転々としながら詩作に励んでいた。夫婦仲になる男もいたが貧乏と縁が切れることはない。そんな生活の中こつこつと自作を書きためていく。『浮雲』(55)と並ぶ、林芙美子×成瀬巳喜男×高峰秀子の才能が結集した傑作。



## さようならUR

### 平和への近道は「住まい」だった?!

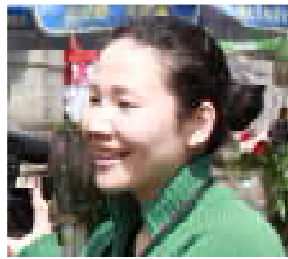
はがわゆみこ 早川由美子 映画監督

この度は、あいち国際女性映画祭2011で「さようならUR」を上映できますことを、大変うれしく思います。

◇スタッフ  
監督・製作・撮影・編集:  
早川由美子

初監督作「ブライアンと仲間たち パーラメント・スクエアSW1」では、イギリスの反戦運動家を描きました。第2作目のテーマは「日本の公共住宅」です。これは大きな方向転換に見えるかもしれませんが、私の中では両者はつながっています。

私はイギリスから帰国後、映画の上映を通じて日本各地を訪れた際、あらゆる社会運動の担い手に若者が少ないことを不思議に思いました。若者にこそ、将来降りかかってくる問題であるはずなのに、近年あつという間に広まった不安定な雇用(非正規雇用、派遣切りなど)で社会運動をやる精神的・経済的・時間



◇早川由美子監督  
1975年、東京生まれ。成蹊大学法学部、London School of Journalism卒。公務員、会社員を経て07年に渡英。ロンドンでジャーナリズムを学びながら独学で映像制作を始める。平和運動家ブライアン・ホウの活動を追った初監督作『ブライアンと仲間たち パーラメント・スクエアSW1』(09)は2009年度日本ジャーナリスト会議(JCJ)新人賞を受賞。『さようならUR』は2作品目となる。

## 漁師と妻 The Fisherman and His Wife

### 鯉に恋して一夫婦のすれ違い

ながさかとしひさ 長坂寿久 拓殖大学教授 NGO・NPO論

この映画で監督が日本から得たモチーフは「鯉」である。「コイ」の発音に「鯉」と「恋」の意味があることを知ったことが脚本のヒントになったに違いない。夫は美しい錦鯉を通して、自然との関わりと妻と子どもとのつつましい静かな生活をよと感じている。妻はさまざまな美しい模様の錦鯉からヒントを得て洋服のデザインに取り入れ金儲けを目指している。妻は望むものはすべて手に入れた野心家で、ビジネスに夢中になる。日本文化を介在させて2つの生き方、ビジネス志向の妻と自然志向の夫とを対比させ、そこから起こる夫婦の葛藤とすれ違いを描いたなかなか面白

い映画である。終始妻の支配の中にあるが、最後は妻が自然志向を受け入れ夫に寄り添うが...  
◇スタッフ



監督・脚本:ドリス・デリエ  
製作:ペーター・ナウロツキー  
撮影:ライナー・クラウドマン  
編集:イネズ・レニエ、フランク・ミュラー  
◇キャスト  
イダ/アレクサンドラ・マリア・ラ  
オットー/クリスティアン・ウルメン  
レオ/シモン・ヘルヘーフェン  
ヨコ/ヤン・シン・キム  
◇ドリス・デリエ監督  
前項参照

## 震災被災地支援

おすすめ

### 東北名産品

1階交流サロンで開催中!!!

山形県:  
農村直行便



岩手県:  
岩手半なまわんごそば



愛知県国民健康保険団体連合会  
特定健康診査・保健指導で、生活習慣の見直しを...

生活衛生同業組合  
愛知県興行協会

愛知県共済生活協同組合  
ライフ共済 火災共済

芸術文化振興基金助成事業  
M 社企業メセナ協議会認定